

2026年 5月 18日

各 位

印刷インキ工業会

中東情勢による印刷インキの現況について（第2報）

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

4/2 発表の工業会文書「中東情勢による印刷インキの現況について」にあるように、ナフサ不足による有機溶剤供給の制約により、特に有機溶剤を多く使用するグラビアインキにおいて、生産に大きな影響を受ける懸念がありました。

4月に入り、政府による備蓄石油放出、非中東産ナフサ調達動き、また経済産業省による（供給不安定化の大きな要因とされる）流通の目詰まり解消への働きかけ、有機溶剤そのものを輸入する動きなどがあり、現在、価格の上昇はあるものの有機溶剤の供給は確保されています。印刷インキにおいても、会員の原材料調達努力もあり問題なく供給は継続されています。

3月のグラビアインキの出荷量は前年同月比105%（工業会調査）となっています。当工業会でも、引き続き経済産業省、会員との連携を図りながら、印刷インキの安定供給の継続に努めていきます。

以上の状況をご理解願います。

敬具